



服薬状況把握ツールを用いた 地域医療連携システムの構築



ライフサイエンス



Keywords

服薬アドヒアランス、高齢者、地域包括ケアシステム



菊池 千草 講師

所属

薬学研究科 臨床薬学分野

専門分野

臨床薬学

所属学会

日本くすりと糖尿病学会 / 日本薬学会 / 日本医療薬学会

HP

<http://www.phar.nagoya-cu.ac.jp/hp/ryc/index.html>



研究概要

超高齢社会では薬の飲み残しが問題となっています。そのため薬剤師は患者の服薬状況を把握しなければなりません。ところが高齢者の場合、従来の主観的なアンケートによる調査では服薬状況を正確に把握できない場合があります。

本研究では服薬状況把握ツールを用いて高齢者の服薬状況を客観的に把握することを試みます。

薬剤師が得られた情報をもとに地域医療機関と連携し高齢者の薬物療法の問題解決を目指します。

関連する論文

1. 「服薬支援システムを用いた在宅での服薬支援の有効性について」第27回日本医療薬学会年会（2017年）
2. 「服薬アドヒアランスと生活習慣との関連性の検証」第61回日本糖尿病学会年次学術集会（2018年）



今後の展望 / 実用化イメージ

服薬状況把握ツールがどんな患者に有効であるかと地域連携のあり方を検証していきます。これが明らかとなったところで、服薬状況把握ツールを利用した情報収集と地域医療連携の仕組みを普及していきたいと思えます。

服薬状況把握ツール



研究者からのメッセージ

2014年から服薬状況把握ツールの研究に取り組み、ようやく使用できる目途がたちました。現在この研究と一緒に取り組んでいただける薬局を探しております。どうぞよろしくお願いいたします。

問い合わせ

産学官共創イノベーションセンター

(桜山キャンパス本部棟2階 / 事務局学術課内)

〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地

(名古屋市営地下鉄桜通線「桜山」駅③出口すぐ)

☎ 052-853-8309 FAX 052-841-0261

✉ ncu-innovation@sec.nagoya-cu.ac.jp